



令和5年度 第2号 令和5年5月10日

鶴 星

阿久根市立鶴川内中学校

校 訓

スクールコンセプト

ともに夢と希望を育む鶴川内中

協 自 自
調 律 主

一 校 一 風

育てよう花と心と大きな夢を

校長室の窓から 吹流し 五月の風を 蹴りに蹴る

ふきながし

さつきのかぜを

けりにける

山口誓子 (やまぐち せいし)

校長 井久保 康彦

吹流しを五月の風が蹴るように吹いている様子を詠んだ俳句です。4月があっという間に過ぎ去り、5月になりました。さわやかな風が新緑の木々の間を吹きわたっています。大型連休も終わり、学校生活を軌道に乗せるための大切な時期となりました。世間でいわれる「5月病」に気を付けて日々の生活を充実させたいものです。

さて、今回はお釈迦様の前世の姿を説かれた逸話である「ジャータカ物語」の中から有名な「三尺三寸箸」というお話を通して生徒の皆さんに自分自身の心のありようについて考えてもらいたいと思います。

ある時、一人の男が地獄と極楽の様子をのぞきに行くことになりました。男はまず恐る恐る地獄をのぞいてみました。すると地獄は丁度食事の時刻でした。男が、地獄の食事とは一体どんなにひどいものが出てくるのだろうかと食卓を覗きこんでみると、なんととても豪華な食事が並んでいるではありませんか。しかし、地獄の住人を見てみるとガリガリにやせ細り、誰一人としてその御馳走を口には出来ません。これはどうしたものかと、男がさらに注意深く見ていると、地獄の住人達はそれぞれ手に三尺三寸ほど（1mほど）の長い箸を持っているではありませんか。あまりに箸が長いため、どんな御馳走があつたとしても、誰一人として御馳走を食べることができないのでした。男は「こんな世界は嫌だなあ」と地獄を後にしました。

次に、男は極楽をのぞきに行きました。極楽もまた丁度食事の時刻でした。そして驚いたことに極楽の住人も地獄の住人と同様、豪華な食事を目の前にし、三尺三寸の箸をそれぞれ持っているのです。しかし、極楽の住人はその長いお箸を使い、朗らかな表情で「どうぞ」と言って、自分の向こう側にいる人に食べさせ始めました。食べさせてもらった相手は「ありがとう」とお礼を言って、今度はその相手に食べさせてあげるので。極楽ではこうして、皆がきちんと食事を取ることができていたのです。その様子を見た男は驚きつつも黙って元の世界へと帰っていきました。

私を含め、多くの人々の認識の中では「地獄は悪い場所」で「極楽は良い場所」と思い込んでいますが、この物語の中では地獄も極楽も全く同じ有様で、唯一違ったのは「この私さえよければいい」という心で振る舞うか、あるいは「他の人の為に」という心を忘れずに振る舞うかというだけです。主人公の男性が黙って元の世界に戻って行くその姿は、自らがいつの日か落ちるかもしれない場所として地獄を想像し恐れるのではなく、そしてまだ見ぬ未来に極楽を願うのでもなく、自らの今現在の在り方を振り返る大切さを教えてくれている様な気がします。

仏教では「自利利他（じりりた）」自己の利益と他者の利益は決して別にあるのではなく、切り離すことができないものだを教えています。昨年亡くなられた「稲盛和夫」さんが京セラを経営される中で社員に繰り返し話されていた言葉が「利他の心」でした。自己という存在は、他者の存在なくしてあり得ないのですから、自分のことだけでなく周りの人のことも考えながら「利他の心」で日々を送りたいものです。

主な行事予定

月	日	曜	5月～6月の主な行事
5	11	木	地区陸上大会
	15	月	全国学調話すこと調査3年
	16	火	第1回学校運営協議会
	17	水	教育相談(～18)
	18	木	歯科検診
	19	金	市教育委員学校訪問
6	26	金	鹿児島育英館高校訪問
	1	木	安全点検日 設営コンクール
	2	金	高校説明会2・3年
	6	火	地区総体推戴式
	8	木	合同芸術鑑賞(風テラス)
	9	金	学校保健委員会・健康教室
	13	火	地区総体(～14)
	15	木	テスト前部活動停止(～21)
	20	火	期末テスト(～22)
	26	月	食に関する授業3年
27	火	防災訓練(不審者対応)	
30	金	授業参観・学級PTA	
			※23日以降にグリーントイム

スクールカウンセラー(SC)の紹介

今年度は、「原 公洋」先生です。

4/28, 6/9, 9/22, 11/17, 2/9に
来られます。生徒は、4/28から全員SC
体験を行っています。6/9は「SOSの出
し方教室」を行います。案内を配布しま
すので、相談を希望される時は、しめ切
りまでに担任へ提出をお願いします。

努力目標

落ち着いた学校生活の雰囲気づくりに努めよう。

一事徹底

登下校の交通ルールを守ろう。

生徒総会

4月26日 令和5年度 生徒会目標
みんなが主役 ～PDCA～



「みんなが主役」とは、鶴中生一人一人が主役として行事などを行うという意味が込められています。生徒数が減少する中で、一人一人の役割が大きくなっています。

PDCAとは、Plan(計画)、Do(行動)、Challenge(挑戦)、Achievement(達成)の頭文字をとりました。専門部を中心に計画を立て、新しいことに挑戦しながらみんなで行動していき、目標を達成することを目指していきます。

PTA総会・引渡し訓練

4月27日 第1回学級PTA・防災教室
引渡し訓練・PTA総会



初めに、各学級にて第1回学級PTAを行い、今年度の学級経営方針やGWの過ごし方等についての話をしました。

また、学級PTAの間に、生徒は地震や津波などの避難について防災教室を行い、防災についての意識を高めました。

次に、学級PTAのあとに、マチコミメールで引渡し訓練の連絡をし、体育館で生徒を保護者へ引渡しました。引渡しカードを使う機会はないほうがよいのですが、万が一に備え、常に携帯してくださるようお願いいたします。

その後、PTA総会を開催し、宮崎幸男会長から新塘征一会長に引き継がれました。

会の中で、合同での専門部活動について話し合い、そのための規約改正が承認されました。これからも、協力してPTA活動を盛り上げていくことを確認できました。

安全・安心が学校の基盤です。4月から5月にかけてよりよい人間関係づくりや、学校生活をより充実させるための取組を行っています。

交通安全教室

4月17日 交通安全教室
18日 自転車点検「ぶたはしゃべる」



今年度の交通安全教室では、阿久根警察署から講師を招き、「自転車の安全な乗り方」について、DVD視聴と講話をもとに考える機会としました。

また、自転車点検のポイントについても指導をしていただきました。

なお、交通安全教室の前に筒モータースの方が来校され、自転車の点検も行ってくださいました。

自転車の点検については、大事だと思ってもおろそかにしがちです。しかし、安全に利用するためにはとても大切なことです。自転車通学生以外でも、自転車に乗る機会があるときは、事前の点検を心がげましょう。点検のポイントは「ぶたはしゃべる」です。

翌日には、自転車通学生の自転車を生徒会で点検し、それぞれに安全への意識を高めていました。



お知らせ

4月中旬に、正門前のセンダンの新芽があまり出てこないため、市教育委員会に連絡して状況を確認してもらいました。その後、専門業者による調査を行ったところ、幹の内部に洞ができていたことがわかりました。

すぐに、枝が落ちたり、幹が倒れたりすることはないと思われませんが、安全のために伐採することになりましたのでお知らせします。



【正門前】



【プール横】